参考 12-4-1

「豊島区人口ビジョン(素案)」及び「豊島区まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)」【全体版】

人口ビジョン

【平成72年(2060年)まで】

1 人口の現状分析

(1)総人口の推移

- ○東京(区部)への人口の一極集中が今後も続くと推測される
- ○35年ぶりに人口が28万人を達成するも、少子高齢化が進む豊島区
- ○年少者の割合は23区の中で3番目に低い

(2)豊島区の人口動態の特徴

- ○23 区で唯一「消滅可能性都市」とされた豊島区
- ○活発な社会動態(転入超過)によって支えられている豊島区の人口
- ○定住率は23区の中でも下位。特に若年層(20~30歳代)で低い
- ○合計特殊出生率は回復基調にあるものの、依然として低水準
- ○高い単身世帯の割合、○増加し続ける外国人

(3)産業が集積し、交通利便性の高い豊島区

- ○昼夜間人口比率は約150%と高く、産業が集積している豊島区
- ○景気の回復基調を示す事業所数と従業者数
- ○近隣県、区外からの通勤・通学者が多く、交通利便性が高い

2 将来人口の推計と展望

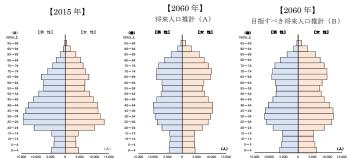
(1)将来人口推計

○今後、人口減少社会が到来し、今までのような人口流入が見込めないと仮定した場合の推計結果 ⇒将来的に人口減少、高齢化の進行

(2)目指すべき将来人口推計

- ○人口減少社会を克服するため、様々な施策を推進した場合の推計結果。
- ⇒出生率の上昇、定住化の促進、人口は30万人に増加





総合戦略

【平成27~31年度の5か年】

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国の総合戦略を勘案しつつ、「豊島区人口ビジョン」で示した将来展望や方向性の実現に向けた今後5か年の基本目標や取り組む施策を提示

基本目標1 子どもと女性にやさしいまち

数値目標	現状値	目標値
子育て世代の 区内定着率	6 3 %	6 5 %

《基本的方向》

子育て・ファミリー層の定住化を目指し、出産前からの切れ目のない子育 てを支援し、女性を応援していきます。

《具体的な施策》

- (1) 仕事と家庭の両立ができる生活環境の整備
 - ■ワーク・ライフバランスの推進
 - 女性起業家の支援
 - 若者や女性に対する就労支援
- (2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
- ■としま鬼子母神プロジェクトの推進
- 待機児童の解消
- ■子どもスキップの運営
- リノベーションによるまちづくり
- (3) 学ばせたい 通わせたい としまの教育を推進
- 新しい時代を拓く教育の推進
- 安全・安心な学校づくり(インターナショナルセーフスクール)

(4)女性の目線にたった施設整備

- ■トイレから広がる女性にやさしいまちづくり
- 子育て世代が利用しやすい公園の整備

基本目標2 高齢になっても元気で住み続けられるまち

数値目標	現状値	目標値
65 歳健康寿命	男性 80.3歳 女性 82.0歳	男性 81.4歳 女性 83.1歳

《基本的方向》

高齢になっても、元気で生きがいを持って、安心して暮らすことができるまちづくりを進めます。

《具体的な施策》

(1) 生涯健康のまちづくり

- 健康長寿まちづくりの推進
- としま健康チャレンジ!の推進

(2) 生涯安心のまちづくり

- ■としま見守り安心戦略の推進
- 地域支えあいの充実
- 医療・介護サービスの基盤整備

基本目標3 地方と共生・交流を図り、

豊かな生活を実現できるまち

数値目標	現状値	目標値
観光情報や物産など 地方の情報に接することができる	22.5%	30.0%

《基本的方向》

交流自治体との連携を深め、豊島区と他自治体における相互補完モデル の構築をめざします。また、豊島区と地方が共に栄える国づくりに貢献します。

《具体的な施策》

- (1)地方との共生
 - 豊島区版 CCRC(仮称)
 - 大学との連携による地域活性化の推進
 - 特別区全国連携プロジェクト
- (2) 自治体交流の活性化
 - 自治体交流の活性化
- 他自治体との教育連携の推進

基本目標4 日本の推進力の一翼を担う

国際アート・カルチャー都市

数値目標	現状値	目標値
滞在人口	976,000 人	1,300,000 人

《基本的方向》

豊島区が誇るアート・カルチャーの魅力を、世界に向けて発信し、人と 産業をひきつけ、世界中から人が訪れ、楽しむことができる都市づくりを 推進し、持続発展する都市を目指します。

《具体的众施策》

- (1) 多様な文化を活かしたまちづくり
- 演劇のまちとしての魅力の発信
- アニメ・コスプレなどサブカルチャーの発信

(2) 出会いが生まれる劇場空間

- 旧庁舎跡地活用・周辺整備 ~8つの劇場によるにぎわい~
- 道路空間の利用による都市の魅力向上
- 安全・安心の確保

(3)世界とつながり人々が集まるまち

- インバウンド施策の推進
- 産業振興による活性化